

な わ し ょ う つ う し ん

# 暁小通信

令和7年度 第17号

令和8年 3月19日発行

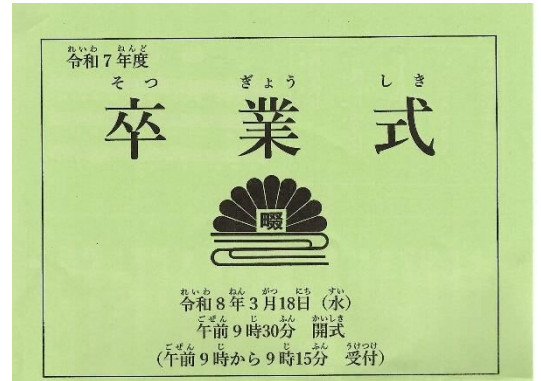
四條暁市立四條暁小学校

校長 香村 紀子

れい わ ねん ど  
令和7年度

そつぎょうしき  
卒業式を

きょこう  
挙行しました。



おだ 穏やかなひざしの降りそそぐ朝でした。

さいこうがくねん ねんかんかつどう ねんせい しじょうなわてしやうがっこう すだ  
最高学年として1年間活動してきた6年生が、四條暁小学校を巣立っていきました。

この6年生の子どもたちは、新型コロナウイルス感染症の流行時に入学を迎え、通常の入学期を過ごすことができませんでした。子どもたちの「別れの言葉」にもその時のことが、語られました。

振り返ると、子どもたちはよくわからない不安を抱えながら過ごしたことを、6年間かけて満たしていこうと頑張ってきたのではないかと思います。どうしようもなかったけれど、申し訳なかったと思わずにはられません。

そんな子どもたちは、胸を張って、立派に卒業式を終えました。

そつぎょうしきれんしゅう かさ たび ひ し こ ひょうじょう そつぎょう まえ なに こころ き  
卒業式練習を重ねる度に、どんどん引き締まっていく子どもたちの表情。卒業を前に、何かを心に決めたようなそんな気概を感じました。

そして本番。入場の緊張感はとても高く、角の曲がり方に固さを感じるほど。気合がうかがえました。「別れの言葉」もしっかりと声を出し、言葉も気持ちも伝わるものでした。みんなで歌う最後の「校歌」は感慨深く、また「旅立ちの日」はとても美しい声で、はつらつと歌う姿と歌声が感動的でした。

すべての式次第を終え、退場していく子どもたちの背中では、入場のときよりも少し大きく見えました。

しょうがっこう そつぎょう すこ おお とびら あ こ おとな だいいっぽ ふ だ いじ  
小学校の卒業は、少し大きな扉を開けて子どもから大人への第一歩を踏み出すような、そんな大事な節目のときです。必ず、卒業生の未来が明るい、希望に満ちたものになることを願ってやみません。

さいご そつぎょうせい そつぎょうせい ほごしゃ かたがた わ わたし ことば さいご どうじつ  
最後に、卒業生と卒業生の保護者の方々にお詫びをしなくてはなりません。私の言葉の最後、当日の年月日を読み上げるところで「令和8年」というべきところ、「令和7年」と間違えてしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

# わか しき おこな お別れ式が行われました



コロナ禍に、縮小されていた6年生と在校生とのお別れ式。昨年度も5年生が実行委員として式を企画・運営し、ペア学級の1年生のサプライズ登場として参加したにとどまりました。

でも今年度は、5年生の企画・運営のもと、1~4年生すべての学年が集って、お別れ式を実施することができました。

まずは、5年生の司会、もちろん全員での発表も、とてもすてきでした。発表するほかの学年の様子をみながら、マイクを手にきはきした言葉で、進行する司会の子どもたち。自分たちの発表でも、しっかりした声で呼びかけ、歌声もすてきでした。次は自分たちが6年になる、といった覚悟のようなものが感じられました。

1~4年生の発表も、とってもよかった。かわいくって、かっこよかった。歌のプレゼントあり、言葉(詩)のプレゼントあり、しっかりとお別れの気持ちを伝える発表でした。

そして、6年生は。。その各学年の発表を、真剣に見入っていました。その表情はすっかり先輩。中には、思いがあふれて、涙する6年生も。それにつられて(?)泣く在校生がいたほどでした。

やっぱり、みんなで場と時間を共有し、思いを伝えあうってすてきです。

6年生にとっても、在校生にとっても、印象深い思い出になったにちがいありません。

5年生のみなさん!あなたたちの姿が、とてもすてきでした。4月からは6年生。躰小をよろしくね!



3学期はあと2日で修了式を迎えます。

3学期の後半は、次の学年に上がる期待と、今慣れている教室、担任の先生、クラスの仲間が変わることへの不安が入り混じった子どもたちの様子が見られました。次のステップに進むには、今をしっかり「終わり」にし

て、前を向くことが大事です。みんなが元気で修了式の日を迎

え、一年間がんばってきた仲間と互いをたたえ合う日にしたいです。

